



各 位

2026年3月17日

会 社 名 パレモ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 香西雅弘
(コード番号2778 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取締役管理担当 笹野信行
電話番号 052-581-6800

2026年2月期通期連結業績予想の修正ならびに 中期経営計画の数値目標取り下げに関するお知らせ

当社グループは、2025年9月16日に公表しました2026年2月期（2025年2月21日～2026年2月20日）の通期連結業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正するとともに、2024年3月29日付で公表いたしました「新中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）」の数値目標を取り下げることといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2026年2月期通期連結業績予想数値の修正（2025年2月21日～2026年2月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,160	230	220	130	10.80
今回発表予想 (B)	14,082	190	177	21	1.78
増減額 (B - A)	△78	△40	△43	△109	—
増減率 (%)	△0.6	△17.4	△19.5	△83.8	—
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	15,040	214	162	△47	△3.96

(2) 修正の理由

当連結会計年度の下半期におきましては、MD戦略の見直しと店舗運営の最適化が奏功し、既存店売上高は前年同期比100%を超える水準で推移いたしました。営業利益におきましては、下半期期間としては3期ぶりに黒字化する見込みとなるなど、本業の収益基盤は回復基調となりました。

その一方で、店舗ごとの収益性を精査した結果、将来の収益見通しに基づき一部の店舗資産等について減損損失を計上する見通しであり、この減損損失の発生額が当初の想定を上回ったことに加え、今後の業績見通しに基づき、繰延税金資産の計上を慎重に判断した結果、法人税等調整額が増加する見通しとなりました。以上のことより、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想との乖離が大きくなる見通しとなりました。

※上記の予想数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 中期経営計画の数値目標の取り下げについて

当社グループは、アパレルおよび雑貨両事業における事業規模の拡大と収益力の向上を目指し、積極的な新規出店、既存店の改装、システム刷新などの重点施策に取り組んでまいりました。

しかしながら、コロナ終息後における出店環境の大幅な変化に伴い計画していた出店数に届かないほか、商業施設の改装や契約満了に伴う想定以上の退店により、新中期経営計画の最終年度に計画していた店舗数を大幅に下回る見通しとなりました。また、物価上昇を受けた消費動向の変化、さらには外部要因に伴う運営コストの上昇も重なったことで2027年2月期の数値目標(売上高180億円、営業利益7億円)の達成が極めて困難な状況となっております。

このため、当該数値目標を一旦取り下げることといたしました。なお、数値目標以外の経営方針・取り組みについては、引き続き実現を目指していくことといたします。

以上